

【開講日】平成30年12月5日(水)

あき 三鷹サテライト教室

文化

三鷹

302046e

【連続講座】史料から日本の歴史を考える
戦国期における後醍醐天皇の^{りんじ}綸旨の効力

受講料 (振込額)	1,500円 ※連続講座「史料から日本の歴史を考える」全7講座お申し込みの場合9,000円				
必携テキスト	――				
講座概要	曜日	水曜日		日程	
	時間	15:00～16:30			
	回数	全1回	定員		50名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	本学教養教育リサーチセンター研究員・東京大学史料編纂所非常勤職員 生駒 哲郎 (いこま てつろう)				
	専門は日本中世宗教史、日本古文書学会編集・大会運営委員。立正大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程満期退学。山梨県身延山久遠寺、大田区池上本門寺、石川県羽咋市妙成寺などの史料調査委員を経て、現在、東京大学史料編纂所非常勤職員・東京都渋谷区文化財審議員。主要著書日本の名僧6『重源：旅の勸進聖』（共著吉川弘文館）、『中世の寺院体制と社会』（共著吉川弘文館）、『中世の寺院と都市・権力』（共著山川出版社）、『山岳信仰と村落社会』（共著岩田書院）など。				
内容	そもそも関東を拠点にしていた法華宗（日蓮宗）は、京都においては新興の宗派といってもよい。その京都法華宗（妙顕寺（みょうけんじ））に対し後醍醐天皇から綸旨が発給された。足利尊氏を倒すための祈祷命令である。後醍醐天皇は南朝の勢力拡大のために京都周辺の伝統ある寺院ばかりでなく、こうした新興勢力にも文書を発給した。 時代が下って、戦国時代、京都法華宗は、一向宗や比叡山延暦寺と武力衝突した。特に、延暦寺との衝突によって、京都法華宗は壊滅の危機を迎えた。延暦寺は、そもそも日蓮宗（法華宗）の祖、日蓮は比叡山延暦寺（横川）の出身なのだから、延暦寺の末寺になれという要求である。その時に、法華宗が持ち出した権威が後醍醐天皇の綸旨である。つまり、本講座では、南北朝期に発給された文書が、後世にどういう権威を持ったのか、後世に付加されて行く史料の価値を皆さんと一緒に問い直してみたいと思います。				

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

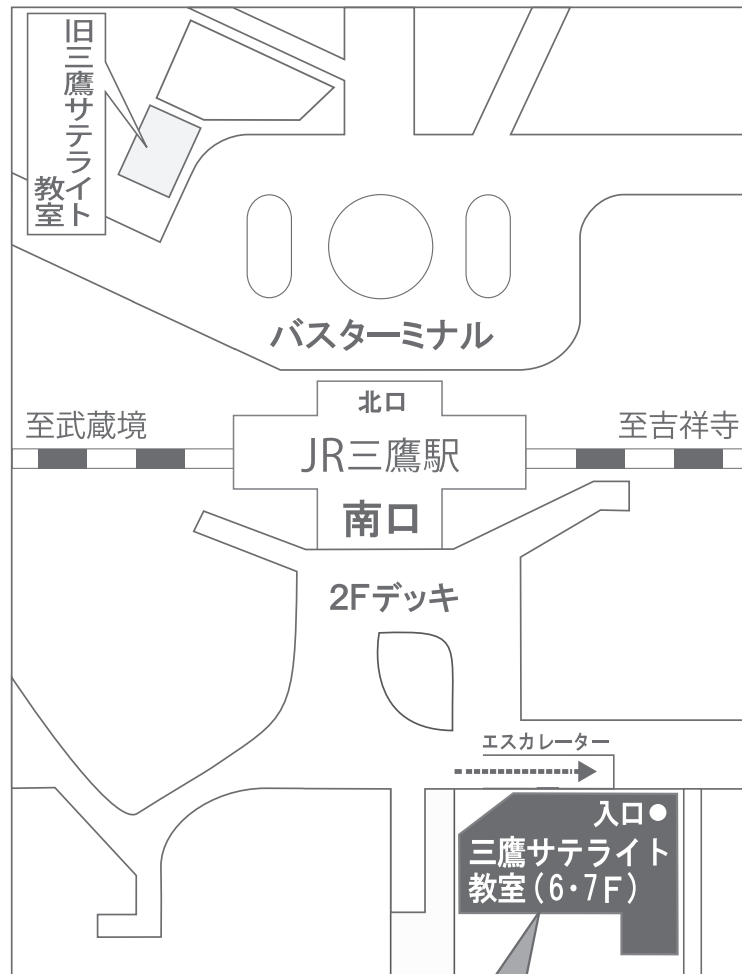
お問い合わせ TEL 042-468-3222
FAX 042-468-3211

開室日：月～金曜日 9:30～18:00
：土曜日 9:30～15:30 (祝日を除く)

武蔵野大学 社会連携センター

〒202-8585 西東京市新町1-1-20
www.musashino-u.ac.jp

武蔵野大学 三鷹サテライト教室 平成28年3月より南口に移転



JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 6・7 F
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・ 教室は講座の15分前よりお入りいただけます。
(前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことがあります)
- ・ 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- ・ 生涯学習講座登録証を携帯してください。
- ・ 欠席の連絡は必要ありません。
- ・ 駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。